

自己ベスト～2回目の挑戦～

令和7年10月21日
小坂井中学校 2年
学年通信 第8号

体育大会

1964年の10月10日は東京オリンピック開会式が開催されました。気象データの基づき、1年間の中で10月10日が「晴れ」になる確率の高い日ということからこの日が開会式に選ばれました。このデータが物語るような快適な天候に恵まれ体育大会が行われました。昨年度の経験を生かして、より磨き上げられた競技内容を披露しました。勝敗はつきましたが、各学級が学級史上最高記録を目指して挑戦する姿が見られました。来年は中学校生活最後の体育大会。今年の3年生に負けない「応援合戦」が見られることを楽しみにしています。

内容は紙面にて ご確認ください

坂中祭&合唱コンクール

体育大会の次は「坂中祭&合唱コンクール」です。FSP、吹奏楽部、合唱コンクールのどれも1学期から準備を進めてきました。あと少しで本番を迎えます。どれも「息の合った」「心をついにした」場面が見られることを楽しみにしています。以下の表は、2年生の出演順とこの曲に込められた思いです。

6組『君とみた海』

「君」と一緒に見た夏の海の風景が、心の中でずっと輝いている。その海は、楽しいだけでなく、悲しみや悩みも包み込んでくれる場所。大切な人との思い出を海に重ねている曲です。

2組『青葉の歌』

きらきらと光る青葉（あおば）のように、私たちの心もさわやかに、やさしくなって、世界中の人と手をつなげるようになり、という願いがこめられた歌です。

1組『地球星歌 ～笑顔のために～』

「世界中の人がつながっていて、みんなが笑顔でいられるように」という願いが込められています。遠くにいる人のことも思いやる気持ちや、自然と共に生きる大切さが歌われています。

3組『時の旅人』

時間を旅する「旅人」として、自分の人生や世界の流れを見つめるようなイメージで作られています。昔の思い出や今の自分、そしてこれからの未来を大切にしようというメッセージが込められています。

4組『あなたへ -旅立ちに寄せるメッセージ-』

卒業はさみしいけれど、未来に向かって歩き出す大切な一歩。そんな「旅立ち」の瞬間を、前向きに応援したいという気持ちがこめられています。

5組『超えてゆけ』

歌詞には、迷ったり立ち止まったりする気持ちが描かれています。でも、そんな時こそ「自分の心が向かう場所」に向かって進んでほしいというメッセージが込められています。